

「組織をもっと良くしたい」—その想いを、実践へ。

「答えを学ぶ」のではなく、自ら「問いを立てる」実践型プログラム。
経営視点で自社を捉え直し、チームを巻き込んで小さな実践を重ね、
企業横断の対話を通じて、組織に確かな変化の兆しを生み出します。



リーダー向け 組織変革 実践プログラム

経営視点とチーム実践で
組織を動かす学び

開講期間

2026年
10月13日(火)
↓
2027年
3月10日(水)
(全9回)

こんな想いを
お持ちの方にオススメです

- ✓ 今のままでは良くないと思っているが、
どこから手をつければ…
- ✓ 経営者の考えを理解し、
現場とのつなぎ役を担いたい
- ✓ 自分らしいリーダーシップで
チームとの関わり方を変えたい

プログラムの3つの特長

問いから始まる探索型リーダーシップ

答えを与えるのではなく、自ら問いを立て、
経営者・現場・顧客への探索を通じて、
自社に必要な組織変革テーマを見出していく。

経営者と同じ景色で未来を考える

自社の歴史や会社が大切にしてきた価値観と
事業環境の変化を捉え、経営者と幹部が同じ景色を見て
対話しながら、自社の未来を共に考える。

地域企業の実践共同体を育む

異業種リーダーとの対話と実践の共有を通じて、
「実践→振り返り→再実践」を繰り返し、
地域企業の変革実践者ネットワークを育む。

身につく力

本プログラムでは、「学ぶこと」に留まらず、「実践を通じて、自社で変化を生み出していくこと」を重視しています。



自分らしいリーダ
ーシップを見出す

値観・原体験を振り返り、
自分らしいリーダーシップ
スタイルを言語化する



経営者と同じ景色で
未来を考える

自社の歴史や事業環境の変化を
踏まえ、経営者と対話しながら
未来を構想する視点を身につける



人を巻き込み
小さな実践を起こす

メンバーとの対話・
信頼関係を構築し、現場で
小さな変化を生み出す



実践を振り返り
学び続ける

自社での実践を振り返り、
他社との対話を通じて新たな
気づきを得ながら、次の実践へと
つなげていく

Phase1
視界転換・設計
第1回～第2回

Phase2
実践・伴走
第3回～第7回

Phase3
統合・発展
第8回～第9回



	開 講 日	時 間	方 法	テーマ・概要
①	10月13日(火) 10月14日(水)	13:00-18:00 10:00-18:00	対面 (信州大学)	自己理解・経営視界を高める 価値観や原体験を振り返り、自身のリーダーシップを見直す。自部門最適化ではなく「経営視点」で自社を捉える視界を獲得する。自社における変革テーマの仮説を整理する。
②	11月10日(火) 11月11日(水)	10日13:00- 11日18:00	対面 (宿泊)	組織テーマの確定と実践計画を行う 自社の組織テーマを深掘りし、テーマを具体化。現場の巻き込み方や生み出す「小さな変化」を設計する。
③	11月25日(水)	15:00-18:00	オンライン	ゼミ形式での実践伴走① ゼミ形式での実践伴走② 実践状況を共有。他社との対話を通じて、自社の実践を客観視し、次のアクションを明確化する。
④	12月22日(火)	15:00-18:00	オンライン	
⑤	1月19日(火)	13:00-18:00	対面 (信州大学)	組織変革への向き合い方 組織変革時の障害・抵抗といった組織変革の壁にどう向き合い、変革を進めるかを考える。対話を通じて、人を動かしていくマネジメントの視点を深める。
⑥	2月3日(水)	15:00-18:00	オンライン	ゼミ形式での実践伴走③ ゼミ形式での実践伴走④ 実践を通じて見えてきた成果や課題を共有し、組織内での変化の兆しを抽出する。次のアクションのシナリオを描く。
⑦	2月16日(火)	15:00-18:00	オンライン	
⑧	3月3日(水)	15:00-18:00	オンライン	ゼミ形式での実践伴走⑤ 成果報告に向けた整理を行う。実践プロセスを振り返り、自身のリーダーシップや組織への関わり方の変化を確認する。
⑨	3月10日(水)		対面 (ホテルブエナ ビスタ)	成果報告会 6ヶ月間の実践成果を発表し、経営者や他参加者との対話を通じて学びを共有する。自社における次のアクションを明確化し、今後の実践へ繋げる。

経営層連携

経営者との
「実践共有」「成果報告」により
確実な成果に繋がります

実践と変革をサポートする プログラム伴走ファシリテーター



河村 卓治

株式会社Carich lab代表取締役。リクルートグループで新規事業開発・海外事業再編に従事後、株式会社リクルートマネジメントソリューションズにて経営者・経営幹部向けの研修講師・コンサルティングを担当。信州大学「信州100年企業創出プログラム」コーディネーター。専門はコミュニケーションとサーバントリーダーシップ。対話を通じて人と組織の創造性を引き出し、事業承継や組織変革、次世代リーダー育成に取り組んでいる。



末富 雅之

信州大学特任教授。株式会社リクルートにて、経営企画、地域活性事業、人材紹介事業等で、管理職として従事。10人～60人規模の組織の全体マネジメント、ピープルマネジメント、プロジェクトマネジメントに長年関わっている。現在は信州大学の「経営者リカレントプログラム」や「信州100年企業創出プログラム」の人材マッチングにも従事。

受講申込要領

▶ 対象者

地域企業の中核管理職(課長・部長クラス相当)
自社に戻ってチームを動かせる立場にある方
約6ヶ月間、自社での実践に継続的に取り組める方

▶ 定員

6～7社×各社3名まで

▶ 受講料

200,000円/人+合宿費別途

▶ 申込受付期間

2026年7月17日(金)～9月18日(金)

▶ 申込書類

講座販売サイト<SHIN-LEARN>の「コース詳細」より、
申込書類(様式)をダウンロード

▶ 申込方法

- ① SHIN-LEARNにて会員登録後、講座をご購入
- ② 事前にご準備いただいた申込書類をアップロード

※申込書類の内容を総合的に検討し、受講者を決定します。

SHIN-LEARN
申し込みサイト

